

改題

土楽たより

どうらく

Kogure 農場 9月号 (NO29)

2012年9月10日(月)発行

【農暦】5日に、草取りがやっと一巡した

○今日(7日)は白露である。今朝は霧がかかり白露の季節を感じる。4日、6日と激しい雷雨で少しだけ畑がホットしているように見える。長い間、降らなかったのも少々の激雨でも歓迎である。草取りすると土煙が上がる。耕運機で耕すと土煙が舞い上がってしまい作業を断念する程であった。気候は時期が来ればその時期らしくなるのであれば安心出来る。だが、昼間は酷暑に戻る。バケツをぶちまけた様なのというが激雨ばかりである。シトシト降る雨は少ない。雷も激しく最近怖い。同じことを何度か書いているが、この変化が激しく極端な気候が温暖化によるものだとしたら何よりも怖い事である。

○大豆や小豆の草取りを優先していたらヤーコンや茄子、ピーマン、トマトなどが草に埋没の直前になっている。キュウリやネギなどは衰え融け始めていた。暑さと体力不足とそれに時間不足も重なっては、結果は見えている。努力する気力を失わない様に頑張り続け作物の畝単位の草取りが、やっと5日に一巡した。草に埋もれた掛けた茄子、ピーマンは出来が悪い。ボケ茄子はタネが多く食べられない。定植直後にウリバエにやられたキュウリとメロンは更に草と日照りで成長出来ずで、当然ながら収穫はゼロである。一貫して栽培して来たヤーコンは苗の失敗などで大幅遅れの定植で発育期と日照りが重なった事なのか背丈が例年の半分位しか生育していない。収穫が出来ないので心配している。

○私のエリアの畑は一巡遅れたことで草の繁茂力と戦いに終始する事になった。収穫も余り望めない事を考えると、緒戦で諦め休耕地宣言し土を休ませて、秋冬野菜の準備を十分にすることの方が得策であった様な気がする。変な言い分だが、結果として、気持ちが萎えず、精神力と体力の維持に少しだけ意味があつたかと思う。

また、出来が悪くても夏野菜の収穫が無いのは大袈裟に云えば耐え難く寂しいことである。キュウリは収穫ゼロで残念な事(今回初めて)になったが、好物の“マイ”トマトには格別なものがある。大胆な判断をしては農的生活からの撤収に繋がる危険も秘めている。無駄に思える事にも意味を求めたいし、企業ではないが『集中と選択』を今まで以上に進め



<マイクロトマト>ブドウの様に甘く美味しいと好評。かつては直売所に出荷していた。
7日撮影

ねばと思う。多くの量や種類は持ち込めない事にはしたい。また、今年から始めたピッコロファームの共同圃場のトマト、シシトウなどは収穫と出荷が好成績であることで救われた。大変だがこれからを楽しみにしている。

○白菜の苗は取り敢えず順調に生育している。今週には白菜の定植と大根の播種をしたいと思う。白露の時期である。日照りが弱まることが期待できると思うからである。それに時期を逸してしまうからでもある。

【楽農】 兎に角、草取りを一巡

<ハウス> ; 大型トマトの収穫僅か

<畑 A> ; 、トマト、茄子、ピーマンの収穫僅か、
* 黒豆、小豆の除草を優先したためかなりヒドイ状態。5日に、やっと草取りを一巡。周辺はこれから。

<畑 B> ; 黒豆、小豆、金時の草取りを優先し実施。一部をトラクターで除草



<マイクロトマト>収穫後で赤い実が少ない。しばらくは収穫が楽しめる。7日撮影

【楽市】 イベント交流・直売など

○グリーンジム本戸倶楽部（8月20-21日）

- ①、20日夕方にピッコロファームの圃場の除草。21日早朝5:30より8:30まで作業。トラクターで除草、整地など。
- ②、調理トマト、白なす、ジャンボシシトウ、ズッキーニを収穫、選別、包装出荷。

* 懇親会はいつも通りで、翌日早朝の作業がありやや控えめであったが、お土産で頂いた“三岳”1升はほぼ空いていた。

○笠吟連の交歓吟詠会に参加(9月1日)

・自由民権運動の弾圧に絡んだ加波山事件の顕彰碑や平尾八十吉の墓前、農民文学「土」著者の長塚節の生家などを巡った。



<平尾八十吉顕彰碑>真壁の安楽寺にある。1日撮影

○エコピア柏の生ゴミ堆肥化講座（9月8日）

・恒例の秋の講座を柏りボン館で行う。家庭菜園をやられている人の参加が多く。私の畑を見学したいと云う人がでる程に、野菜栽培の関心が高い。嬉しい事である。

【つぶやき=Tweet】 男女のことを書けば楽しくなる？

○笠間と柏の往来の車の中でラジオを良く聴く。その1つに「大竹まこと」の番組がある。政治、経済、社会などの話題を取り上げていて面白い。少々過激？な所もよい。先日、草食系男子のことが話題になっていた。SEXに関心が低くなっている事、SEX経験年齢が上っている事（統計）、経済不安定の若者が増える中で生涯未婚は益々増えている事などが話

されていた。問題が何処にあるか判らないが、的外れな少子化対策では効果は期待できない。フランスのオランド現大統領は日本で云うと同棲をしている。フランスは同棲を社会制度としてルール化するなど進んでいる。国別のSEX回数の統計？によると日本は最下位に近いと云う。信憑性が気になるがSEXレスの夫婦の話など聞くと肯首してしまう。サンパウロの工場に赴任し今はブラジルに帰化してしまった友人と日本に帰国する度に酒場巡りした時の話で、ブラジルの女性は“凄い”と日本食では駄目で肉（モツ系）と大豆の煮込んだものを常食にしているからだ、みやげのH雑誌をきっかけに力説されたことが、肉食系男子の話題になる度に思いだされる。

○日本には源氏物語や江戸時代の春画、“夜這い”の言葉が残る程に男女のことには大らかで豊かな文化があったと思う。明治維新以降、鹿鳴館の舞踏会に象徴されるように西洋化を進める余りに日本の文化は否定的に扱われ、日本の文化の高さは日本人でなく西欧人が認める事になった。パリ万博で陶器の包装に使われた浮世絵が西洋絵画に、溝口や小津の映画がヨーロッパのヌーベルバーク派映画に圧倒的な影響を与えた。日本の文化が西欧に影響を与える事などは、明治の指導者には想像すら出来なかったと思う。

○浮世絵の春画がアメリカの占領軍によって持ち出されスミソミアン美術館の地下階にあると云う。それを元東大教授の社会学者？の上野千鶴子が見に行った。1人では見せて貰えなかった。理由は自慰されては困るからだと言われていた。見に行った目的は判らないが、美術品の扱いにリアリズム？があり過ぎではと思う。彼女の著書には下ネタばい記述が多い。社会学者と云えば京大（動物行動学専攻）卒の竹内久美子の本は下ネタ（云ってはいけない）に近い内容のものがあり面白い。草食系男子が多くなる一方で肉食系女子と思われる女性の活躍が目立つ。当然ながら本やテレビ、ラジオを通してしか知らないが、齋藤綾子、岩井志麻子、最近ラジオで知った村山由佳などは、従来の女性感が吹き飛んでしまう様な“性”に大らかで積極的に関わっている。羨ましい程である。

○大竹まことのラジオの最後の方で、室井祐月さんが“こんな気持ちのいい事を与えてくれた神様に感謝したい”などと言っていた。感謝出来ない人が多いのではないかと老婆心ながら心配になる。竹内久美子によって、気付かされた事だが、人間はほぼ一生発情している。動物の多くは生殖に繋がる一時だけの発情である。感謝出来なければ罰が当たる。

○次は楽しいものにと云っていたので考えた。男女のことを書けば楽しくなるのではと思った。人間にとって大事な事だがデリケートなことで書きづらいし難しい。中味なしを御容赦を願う。

【後記】 大汗を掻くのは好きであった。だが今年
は、体力減退でか、暑さが応えた。ひたすら草取り
とお盆、結婚式 etc と忙しい月であった。
笠間に、kogure農場にお越し下さい。

【特に編集せずランダムな構成にします】

発行者；Kogure農場・小暮

住所；笠間市本戸4201-10

携帯電話；090-9333-4135

メール；torao-k@nifty.ne.jp

HP；<http://homepage3.nifty.com/toragigi/>